

Back Number

本論文は

世界経済評論 2023 年 7/8 月号

(2023 年 7 月発行)

掲載の記事です



世界経済評論 定期購読のご案内

年間購読料

1,320円×6冊=7,920円

6,600円

税込

17%

送料無料

OFF

富士山マガジンサービス限定特典

※通巻682号以降

定期購読
期間中

デジタル版バックナンバー 読み放題!!



世界経済評論 定期購読



0120-223-223

[24時間・年中無休]

お支払い方法

Webでお申込みの場合はクレジットカード・銀行振込・コンビニ払いからお選びいただけます。
お電話でお申込みの場合は銀行振込・コンビニ払いのみとなります。

Fujisan.co.jp

雑誌のオンライン書店

すっきりわかる マーケティング戦略

明治大学商学部講師 鈴木 仁里



[著者]

隈本 純 (くまもと じゅん)

東洋学園大学現代経営学部教授

村中 均 (むらなか ひとし)

常磐大学総合政策学部経営学科教授

[発行] 文眞堂, 2023年2月

[判型] A5判, 178ページ

[定価] 本体2,000円+税

本書は主に学生、実務家、大学教員に向けた「マーケティング戦略」の入門書である。第1章では「マーケティング戦略」の定義とその目的が論じられ、第2章では『誰に』『何を』『どのように売るか』という「マーケティング戦略」の方向性を詳説している。第3、4章では、先述の『誰に』を細分化し、「どのグループ」の「誰に」対して「どのようなイメージ」を抱いてもらうか、の検討プロセスを解説している。第5～8章では『何を』の検討プロセスに相当する「製品・価格戦略」を、第9～12章では『どのように売るか』の検討プロセスに相当する「流通・広告戦略」を概説しており、これらの章を通して「マーケティング戦略」の中

核である4P（製品・価格・流通・広告）戦略を学べる構成となっている。

本書の特筆すべき価値は「インテグラルな章の設計」と「理論と実践の知が融合したコンテンツ」の2つであると考えられる。1つ目であるが、従来の入門書は各章が独立している印象がある中で、本書はまず“はしがき”で章立ての全容が把握できる図があり、次に、前章からの流れが各章の冒頭部分で概説されていることで繋がりが確認でき、最後に“あとがき”において本質的に重要な複数章の関係を1つの概念フレームを用いて見事にまとめている。独立した単体章（モジュール）を単純に組み合わせた設計ではなく、各章をすり合わせて統合させた（インテグラル）設計が秀逸である。続いて2つ目であるが、各章の本文では、その章で中核的に扱われる概念に関する理論フレームが概説されており、章末のコラムにおいてそれに関連した身近な事象や企業を例示し、読者視点で分かりやすく解説されている。以上の2つが本書のタイトルにある“すっきりわかる”のからくりではないだろうか。

本書になお望むものがあるとするれば、「国際性との繋がり」と「マクロ環境との繋がり」への言及であろう。「国際性との繋がり」であるが、近年、拡大傾向にある日系企業の海外子会社の現地売上高やインバウンド消費の規模からして、もはや国境を越えてモノが売れる仕組み創りの知見の習得が必須の時代である。次に「マクロ環境との繋がり」であるが、現代で言えば「地政学リスク（脅威）」や「デジタル経済社会（機会）」などのマクロ環境要素をどのようにマーケティング戦略に落とし込んでいくべきか、についての知見も今後一層重要となるだろう。「入門編」に続く「応用編」が今後世に出てくるのであれば、それらの一見複雑で難解に思える知見が“すっきりわかる”言及に大いに期待したい。

(すずき にさと)